

Cure and Care communication

第97号

C&C コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>



ナカムラ病院
介護老人保健施設 **まいえ**
グループホーム **つばい**



特別養護老人ホーム
陽光の家
通所介護事業所
居宅介護支援事業所

まいえ 25周年をむかえて



まいえは、広島市内では4番目に開設した介護老人保健施設です。

介護老人保健施設とは

- ①在宅支援・在宅復帰のための地域拠点となる施設
 - ②リハビリテーションを提供する機能維持・回復の役割を担う施設
- (厚生労働省資料より)



▲お誕生日会は
ケーキでお祝い
します♡



▲セラピードッグを抱いてにっこり
笑顔です!



▲満開の桜を背景にハイ、チーズ!!

介護老人保健施設

まいえ

25周年

自立生活へ向けて、心はつねに前へ

(まいえ)

「まいえ」 二十五周年!!



平成五年に設立いたしました介護老人保健施設(以下、老健)『まいえ』がこの度二十五周年を迎えることとなりました。

「まいえ」という名前の由来は「前へ(まいえ)、進め!」です。法人名「PIA」のAII前進Advanceに当たります。「老いることはおとろえることではなく前進することである」と、当施設長を兼任しておりました前理事長中村英雄が名付けました。Advanceには「向上させる」「改

思いを形に...



介護老人保健施設「まいえ」は平成五年六月に開設し、今年二十五周年を迎えました。

平成十二年四月に介護保険制度が始まり、当初は利用者様も自立度が高く、お世話をする事も少なかったように思います。

あれから、十八年... 介護保険施設に必須であるケアプランは「〇〇ができない」から「〇〇が、したい」「〇〇が、できるようになりたい」と本人のニーズが中心となり、個々に合ったケア

善させる」という意味もあり、老健の機能にぴったり当てはまりました。当時は随分斬新な名前だなあと思ったものですが、これが案外馴染みやすい語感でありまして、今やすっかり地域に定着し、皆さんから『まいえ、まいえ』と言っていた、たく度に父の得意気な顔がよみがえります。もう一つ昔のことを申しますと、入口にあります『定礎』の文字は私が書いたもので、当時学生ではありましたが、立ち上げに関わらせてもらえたという私なりに思い入れのある建物でもあります。

「まいえ」はナカムラ病院と棟が繋がっており、連携しやすく、利用者の方の身体面・精神面それぞれの状態に応じた場を提供させ

プランを作成するように変わっていききました。そして、入所時から在宅を見据えたプランを作成することで、ご本人やご家族のニーズが明確になり、より一層細やかなケアが行えることが出来ているのだと自負しております。

近年は、入所者様の夫や息子が主介護者となり、男性が介護に加わるが増えています。その理由として、家族の小規模化や女性の社会進出にもなっており、介護者は多様化し、男性介護者が増加傾向にあると言えます。

そんなある日、面会に来られた息子さんから「面会の度に、母の服が同じだと思ってしまうので、違う服も着

て頂いて参りました。ほどよい規模のまいえは職員のチームワークも抜群であり、温かみのある施設です。

一方で、時代の流れの中、我々は老健本来の目的に立ち返り、今まで以上に在宅復帰・生活支援に向き合うべきと痛感しております。「ご本人にもご家族にも負担のない適切なケア」を心掛けながら、個々に応じた「まいえ(前へ)」に向けた環境をご提示できるように、より柔軟にならねばなりません。どうかこれからもまいえをよろしくお願い申し上げます。

介護老人保健施設まいえ

施設長 中村 友美

させてもらえませんか?」とご要望がありました。その利用者様はいつも同じ色のシャツを好んで着ておられ、入浴準備に他の服を用意しても翌日には同じ色のシャツに着替えてしまわれます。でも、息子さんは「いつもおしゃれに、きれいでいてほしい。母親らしくしてほしてほしい。」といった思いがそこにはあるのです。そういったご家族の思いも感じ取り、日常の中で、利用者さまの自立支援を考えながら、「前(まい)えー進め!」で共に前進していきたいと思えます。

介護老人保健施設まいえ

看護部長 木原 久美子

シリーズ全4回

第2回

病院で看取るということ

(ナカムラ病院医療療養病棟での看取りについて)

私が勤務するB2病棟は、医療療養病棟です。酸素吸入、気管切開、中心静脈栄養、疼痛コントロール等、医療的ケアが必要な患者さまが多く入院されています。当院の中では重症の患者さまが入院されているため、当病棟で亡くられる方も多く、今まで数多くの方の最期の時に携わってまいりました。入院すると、看取りまでの過程の中で患者さま・ご家族は様々な決断を迫られます。口から食べられなくなった時に、胃瘻をつくるのか、経鼻栄養をするのか、中心静脈栄養をするのか、点滴をするのか。さらに点滴が難しくなったらどうするのか。そして最期の時はどうするのか、延命措置をおこなうのか、等々。

現実には、認知症などで意思疎通が難しく本人の意思を確認することが困難な患者さまが多く、その場合諸々の決断はご家族がしなければなりません。患者さまの意思が確認出来ない場合、人の命を左右する決断に悩まれるご家族を多く見てきました。どんな決断をしても、後からこれで良かったのか悩み後悔することも多いかと思えます。一日でも長く生きて欲しい、入院しているから出来る医療をするべきだなど、ご家族と医療者の意思で決断するのではなく、可能な限り患者さまの意思が反映された決断が出来ればと思います。患者さまの今までの生き方や価値観をよく知っているご家族が、患者さまの気持ちに思いをはせて「もし、話が出来たらどう答えるだろうか?」と考えて患者さまの思いを尊重した決断をして欲しいと思います。患者さまとご家族にとって何が幸せなのか、「いい最期を迎えることができた」と後悔なく振り返れるよう、私達医療者側も何が最善か一緒に悩み一緒に考えていくことが必要ではないか、そうして悩んで決断された答えを肯定し、支えていける立場でありたいと思います。

看取りとは、『近い将来、死が避けられないとされた人に対し、身体的苦痛や精神的苦痛を緩和・軽減するとともに、人生の最期まで尊厳ある生活を支援すること』と定義されています。では、いつからが看取りなのでしょう。近い将来、死が避けられないことを考えると、経口摂取や経管栄養など栄養をとることが難しくなった時点がひとつの目安となるかもしれません。

口から食べられない患者さまで「お腹すいた」「水が飲みたい」と言われる方に何かしてあげられる事はなにか。多職種のスタッフで検討し、ご家族に患者さまが好きだったものを伺い、チョコレートやコーヒー等を口の中に塗って味を感じてもらったことがありました。ただ塗るだけでしたが、口を閉じ味わうようにゆっくり口を動かし「おいしい…」と言われた一言にご家族もとても嬉しそうでした。そのお姿が私達もとても嬉しく心に残っています。

栄養をとることが出来ず、身体が衰弱していくと最期の時が近づいている事をご家族も認識されると思います。初めて身近な家族を看取る方も多く、皆さん不安や戸惑いを感じておられます。これから最期の時に向かって起こる病状の変化は、死に向かう自然の経過である事をその都度段階ごとに説明し、ご家族が現状を受け止め、落ち着いてお別れが出来る心の準備ができるように努めています。

いよいよ看取りが近づいた時にはご家族でゆっくり最期の時を過ごしていただけるように個室に移っていただいております。できる限り傍について見守っていただき、手を握ったり体をさすったり、好きな音楽を聴いていただいたり。患者さま自身の不安を和らげるとともに、ご家族には最期の時を一緒に過ごすことが心の準備ができる時間となっているように感じます。

死を迎えた後に体を拭くなどエンゼルケアを行うのですが、ご家族が希望されれば一緒におこないます。お元気だった頃のお話などを伺いながらおこなうこともあり、私達職員も今まで知らなかった患者さまの人生に触れる事ができ、ご家族と共に患者さまの人生に思いを馳せながらお見送りのお手伝いをさせていただいております。

どのような医療・看護を行うことが患者さまやご家族の満足する看取りとなるのかは個人個人で違い、正解はありません。老いや死としっかり向き合い、患者さまとご家族の気持ちに寄り添い、共に悩み、考えて「いい最期を迎えることができた」と共に感じられるような看取りケアを目指していきたいです。

ナカムラ病院 B2病棟 科長 山下 美保

陽光の家通信 【陶芸教室】

陽光の家デイサービスでは毎月第一・第二火曜日に陶芸教室を行っています。

五日市から陶芸の先生をお招きしており、陶芸が初めてという利用者様でも先生が優しくご指導してくださるので安心して楽しく行うことができます。

陶芸教室は先生が大きな土の塊を切り分けて利用者様が土をこねるところから始まります。利用者様は腕にしつかり力を入れて「よいしょ、よいしょ。」と手の平が真っ黒になるまでよく土をこねています。側で見ていた私も少し土をこねさせてもらいましたが結構腕に力がある作業で驚きました。そのあとに土をろくろの上置いてろくろを回しながら形を整えていきます。作品を作っている表情は皆様真剣そのものです。作品作り際には「こんな形にしたうしただけで上手いかなね。先生どうしたらいいですか？」と頭に思い

描いた作品のイメージを先生に伝えたり、利用者様同士でも「私の形はどうかね？もつとこうしようか？」と会話も弾んで笑顔で作品作りに没頭しておられます。

土の素材が毎回違うので出来上がりの色や模様に変化があるのも楽しみの一つです。出来上がった作品をみて利用者様は「この茶碗で今夜はご飯を食べるよ。この湯呑みで今夜はご飯を飲みたい」と大満足されています。実際に自分で作ったお茶碗や湯呑みで食べるご飯やお茶はいつもより美味しく感じられるそうです。また、ご自宅に戻られてから、一つ二つとご自分で作られた作品が増えていく事が嬉しいと言われます。「これからもたくさん作品を作りたいから元気にここに来よう」とその言葉を聞くと私たち職員もとても嬉しく思います。陽光の家デイサービスは利用者様に「楽しかった」と言っていただけのようにたくさんのお客様を企画して皆様をお待ちしております。

利用者様の作品は施設内の通路に展示させていただいております。

素敵な作品がたくさんありますので陽光の家にお越しの際は、是非ご鑑賞ください。

通所介護事業所 網本 忠文



歯科の扉

～口臭について～



皆さんは口臭について気になったことはありませんか？自分自身よりも他人が先に気づくことが多いと言われています。

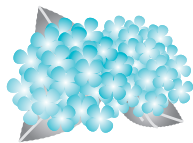
口臭の種類は、生理的口臭(起床時・緊張時・空腹時)、外因的口臭(お酒・たばこ)、病的口臭に分類されます。さらに病的口臭には口腔由来のもの(虫歯・歯周病・口の乾き・舌苔)と全身由来のもの(糖尿病・呼吸器疾患・消化器疾患など)があります。

口腔内では、食べかすや剥がれた粘膜に含まれるタンパク質を細菌が分解して臭いガスを出します。これが口臭の正体です。

口臭を防ぐには、日常の歯磨きと歯科医院での専門的清掃や治療をおこなうことが大切です。また、舌ブラシによる舌磨きや唾液がよく出るように唾液腺マッサージをおこなうことも良いです。全身由来の口臭は一度、内科医師に相談してみましよう。

歯科医師 山脇加奈子

つばい こぼれ話 あじさい寺へ 散歩



梅雨の合間、久しぶりに広い青空のぞいた日に、観音寺にあじさいを見に出かけました。「まあ、きれい」「変わったあじさいがあるね」「私は赤いのが一番好きよ」などと皆さんの歓声があがりました。たくさん種類のあじさいを

眺めながら、出会う方々に「こんにちは」と声をかけていただき、楽しいひとときを過ごしました。

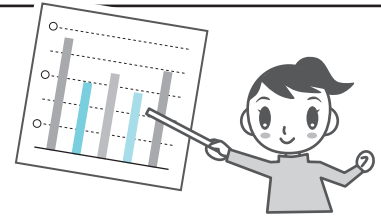
グループホーム つばい

介護職 鶴原友希菜



平成29年度

利 用 実 績



昨年度の、各施設における実績をご報告いたします。

「病床利用率」については、29年度1年間を通してのデータです。

「要介護度分布」および「平均介護度」は29年度1年間の平均を示しております。

ナカムラ病院

まいえ
(介護老人保健施設)陽光の家
(介護老人福祉施設)

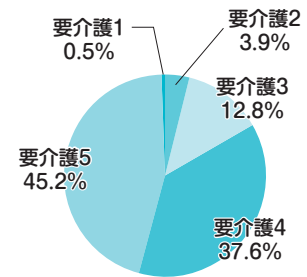
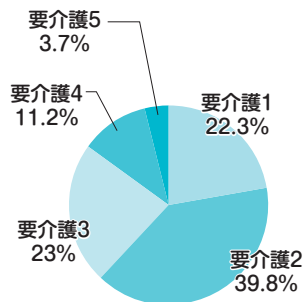
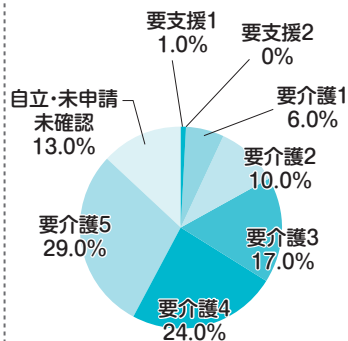
病床利用率

95%

92.2%

96.9%

要介護度分布



平均介護度

B1・B3・B4病棟 4.36
(介護療養型医療施設)

2.34

3.97

全国の介護保険3施設の平均介護度は?

介護療養型医療施設	▶ 4.39	厚生労働省 (H26年10月1日)
介護老人保健施設	▶ 3.28	
介護老人福祉施設	▶ 3.85	

B2病棟 4.15
(医療保健療養病棟)A3・B5・B6・B7病棟 3.04
(認知症治療病棟)

認知症治療病棟であるこの4病棟については、必ずしも介護度が介助量を反映しているとはいえません。

心理検査について

当院では「長谷川式簡易認知評価スケール」をはじめとする神経心理検査(認知機能検査)を行っております。複雑な認知機能のどの部分に困難が生じているか、どういった能力は保たれているか明らかにすることにより、その人らしく生活できる環境を整える一助としています。詳しくは臨床心理士までお問い合わせください。

(H29年度 実習生受け入れ実績)

昨年もナカムラ病院・介護老人保健施設まいえ・特別養護老人ホーム陽光の家では、さまざまな職種の実習生を受け入れました。詳しい受け入れ状況は下の表のとおりです。

現場で学べない多くのことを吸収し、将来に活かして頂きたいと思えます。

●ナカムラ病院・まいえ

(五十音順)

職種	学校名	人数(名)	職種	学校名	人数(名)
看護師	山陽看護専門学校	29	作業療法士	広島大学	1
	広島文化学園大学	148		広島都市学園大学	2
理学療法士	広島都市学園大学	2			
作業療法士	IWAD環境福祉専門学校	1			
	県立広島大学	1			

●陽光の家

(五十音順)

職種	学校名	人数(名)
介護福祉士	広島福祉専門学校	6
相談援助実習 保育社会福祉学科	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	2



春のお茶会



五月二十三・二十四日に恒例のリハビリテーション科主催「春のお茶席」を開催しました。

お茶席(開催場所:P I Aギャラリー・第一展示コーナー)では、田辺先生が点でて下さるお茶とばらをあしらった練りきりをお出しし、飲み込み等の問題でお菓子を食することが難しい方には、「わたようかん」という淡雪のような柔らかいお菓子と、とろみの付いた抹茶入り緑茶を召し上がって頂きました。

参加された方の中には、会場に飾られた季節の草花を見たり、香りをかいたりして楽しむ方、着物



を着たスタッフに「綺麗だね」「かわいいね」と声を掛けて下さる方、先生のお点前を見て懐かしがられる方、先生との会話を楽しむ方など様々な表情を垣間見ることができました。

その中で一句詠んで下さった方がいたので紹介します。

病院の春の茶会に作法なし

右片麻痺には介護士ついて

今年のお茶席も様々な方に支えられ開催することが出来ました。来年も、患者さま、入所者さま、利用者さま、ご家族・地域の方々等に楽しんで頂けるようなお茶席を考えていきたいと思えます。

ナカムラ病院 リハビリ

言語聴覚士 嶋田 利恵



五月十八日、B6病棟では、五月の病棟行事に五月の風物詩である「鯉のぼり」作りを行いました。鯉のぼり作りを行うために、三つのグループに分かれ、黒・赤・青の鯉のぼりに鱗を貼っていたいただきました。みなさん、思い思いに貼っていただき、楽しそうな様子でした。その鯉のぼりに新聞紙を詰めて、立体的に飾りました。患者さまから「風に泳いでいるみたい」と喜んでいただけました。そして「鯉」にちなんでカープが優勝できるように「鯉のぼり」を大合唱しました。「物を作るのが大好きだから、みんなと協力して



ナカムラ病院 B6病棟
看護師 川野 麻理奈

作品を作ることが出来て、楽しかった」と感想をいただき、患者さまに楽しんでいただけて良かったです。

いきいき行事ダイジェスト

4月

- お花見昼食会(にぎや家)
- お花見(まいえ2)
- お花見(B6病棟)
- セラピードックとふれ合おう(まいえ1)
- 春のお茶会(A3病棟)
- お花見(B5病棟)
- 造幣局 花のまわり道(にぎや家)
- 大正琴演奏会(全体行事)
- 外食(つばい)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- フルーツバイキング(まいえ2)
- ボランティア・売店・慰問(陽光の家)
- 慰問(実り会)(陽光の家)
- 家族会総会(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)



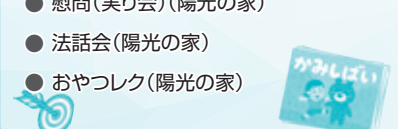
5月

- ケーキバイキング(A3病棟)
- お誕生日会&歌謡ショー(まいえ2)
- ケーキバイキング&歌&玉入れ
(B7病棟)
- 母の日 ハンバーグ作り(にぎや家)
- ケーキバイキング(B5病棟)
- 鯉のぼり作り(B6病棟)
- ケーキバイキング(まいえ1)
- 春のお茶会(リハビリ)
- 吹奏楽演奏会(全体行事)
- ケーキバイキング(まいえ2)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)



6月

- 映画鑑賞会(B6病棟)
- 映画鑑賞会(A3病棟)
- すごろく大会&誕生日会(まいえ2)
- 紙芝居(B5病棟)
- 夏よ来い! 的当て大会(B7病棟)
- 法話会(リハビリ)
- ケーキバイキング(まいえ1)
- 父の日の運動会(にぎや家)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- オペラアンサンブル演奏会(全体行事)
- ボランティア・売店(陽光の家)
- 慰問(三筋芸能グループ)(陽光の家)
- 慰問(実り会)(陽光の家)
- 法話会(陽光の家)
- おやつレク(陽光の家)



映画上映会 in ナカムラ病院大ホール

綺麗に手入れが行き届いたロビーを通り、職員さん達の笑顔に迎えられてホールに入ると、中は既に大勢の人達でいっぱいでした。

映画のタイトルは東野圭吾原作「ナミヤ雑貨店の奇蹟」。かつて店主が人々の悩み相談を請けていたナミヤ雑貨店。2012年、今や空き家となっているこの家に、女性実業家を襲い盗みを働いた若者3人が逃げ込んで来た。潜んでいる彼らの前で、シャッターの郵便受けを通して1通の悩み相談が舞い込む。進むべき進路に悩む若い女性からで、日付は1980年12月となっていた。若者達は好奇心から、1980年以後の経済状況を踏まえ、不動産投資の事業を始めるよう返信する。その後、盗んできたバッグの中味を見て、襲撃した女性実業家が、自分達の書いた返信を32年前に読み事業を起こして大成功をおさめた本人であることに気づく。



雑貨店のシャッター 1枚を隔てて、時空を超えてつながりあった女性実業家と若者達一。

この映画を見て、私はあらためて人と人との「縁」の不思議を思わずにはいられません。私達はいつの時代でも多くの人達に支えられ生きています。そのことを忘れず、これからも人と人との「縁」を大切に生きていきたいと思えます。

観音台4丁目 中重 孝治

認知症カフェだより

いつもサロン・ド・ファミーユにお越しいただきましてありがとうございます。



4月20日に第18回目の認知症カフェを開催しました。この度は特別企画として、広島大学特任教授の山脇成人先生にお越しいただき「こころの状態を見える化する～ワクワクする車づくり(マツダとの共同研究～)」と題し、最新のこころの脳科学を応用した企業との共同研究についてお話ししていただきました。

車の運転をしている時の心の状態をデータ化して、「車が快適な運転をサポートしてくれる未来」についての貴重なお話でした。

参加者の方からも「山脇先生のわかりやすいお話、明るい未来を想像させるお話をうかがえてよかったです」とご好評をいただきました。

これからも楽しく、刺激になる時間になるよう企画します。

皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

地域連携センター まいえ部門主任 石田優一郎



平成30年 8月▶12月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	8月4日▶9月25日 第16回ナカムラ病院等 利用者さま作品展 —今を生きる作品たち—
	10月上旬 ピーアイイー いけ花愛好会 花展
	10月中旬▶12月中旬 あとりえみゆげ10周年 —キッズ・アート展—
第二展示コーナー	8月4日▶9月25日 第16回ナカムラ病院等 利用者さま作品展 —今を生きる作品たち—
	10月上旬▶12月中旬 広島市立大学芸術学部 学生有志作品展

院外発表

■ 第8回 広精協学会 2018年6月9日
優秀賞
「人物誤認による過干渉行為が見られる患者の
アプローチを通して」 発表者 頃末沙知子



編集後記

今回の冒頭にもあったように、介護老人保健施設まいえは今年六月に開設二十五周年を迎えました。今から二十五年前と言うと一九九三年(平成五年)ですが、この年はどのような出来事があったのかと気になり調べてみました。すると二十五年前にはJリーグ開幕や皇太子徳仁親王のご成婚がありました。ついこの前とは思いませんが、こうやって過去の出来事を振り返ると過ぎゆく時間の速さを痛感させられます。これからも実り多い時間を過ごしていきたいですね。(N)

平成三十年七月豪雨による災害のお見舞い

このたびの平成三十年七月豪雨により被害を受けられましたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復興を心よりお祈りいたします。